

令和7年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)	部局名	都市整備部
款	項	目			課 名	下水道課
5	1	4	土地改良費（公共下水道費）	284		

I：事業概要

施策事業名	下水道事業会計繰出金
事業目的	公共下水道事業、農業集落排水事業の適切な事業運営及び事業の推進を図る。
事業内容	●下水道事業会計繰出金 ・公共下水道事業、農業集落排水事業の適切な事業運営及び事業の推進を図るため、企業債及び人件費等の経費について、一般会計より繰り出す。
事業の 成果・効果	・一般会計からの繰り出しにより、公共下水道事業及び農業集落排水事業の適切な運営が図れた。

II：個別事業内訳 (単位：千円) (見直し・点検進捗評価は4段階)

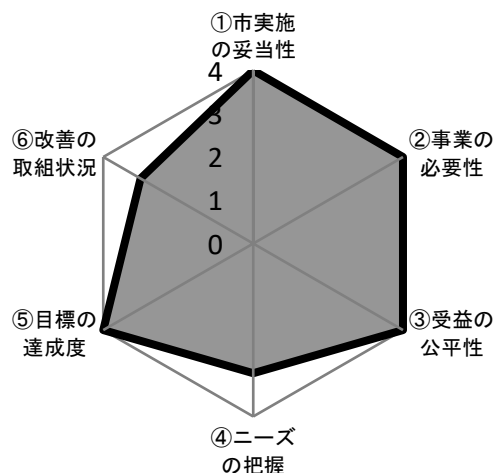
事業名	決算額	財源内訳		一般財源 の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信 ・共有化	業務適正化
下水道事業会計繰出金(7.4.7公共下水分)	904,988	0	904,988	100%	3	3	3
下水道事業会計繰出金(5.1.4農集分)	59,777	0	59,777	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	964,765	0	964,765	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R6決算	R7決算	R8予算
		976,222	964,765	886,514
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	976,222	964,765	886,514
一般財源の割合		100%	100%	100%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	下水道法により、公共下水道事業は市が行う事業である。農業集落排水事業により設置された施設であり、市にて実施する必要がある。
②事業の必要性	4	公共下水道事業及び農業集落排水事業区域の市民に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	4	公共下水道事業及び農業集落排水施設を利用できる市民すべてが対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	公共下水道事業及び農業集落排水施設を利用できる市民すべてが対象となる事業であり、公衆衛生の向上、環境美化のために必要不可欠な事業であるためニーズはある。
⑤目標の達成度	4	公共下水道事業及び農業集落排水施設の運営及び施設の適切な維持管理を行った。有収率の向上に向けて管更生工事や取付管部の改良工事を行ったが、さらに有収率の向上に向けて改善していく必要がある。
⑥改善の取組状況	3	一宮建設事務所管内の5市2町との共同管路調査を継続して実施した。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和7年度に見直しを実施した事項	- 経営戦略に基づき、使用料改定を実施するため下水道条例の改正を行った。 - 有収率の向上及び老朽化対策を図るため、管更生工事及び取付管部の改良工事を継続実施し、一宮建設事務所管内5市2町による共同管路調査を継続実施するとともに民間包括委託(WPPP)についての基礎調査を実施した。
令和8年度に見直しを実施している事項	- 有収率の向上及び老朽化対策を図るため、管更生工事及び取付管部の改良工事を継続実施。 - 一宮建設事務所管内5市2町による共同管路調査を継続実施。 - 民間包括委託(WPPP)についての方向性の検討。
今後見直しを検討する事項	- 農業集落排水区域の公共下水道区域への編入について調査検討を行う。 - 民間包括委託(WPPP)についての方向性の検討。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和7年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課 題	対応策・今後の方向性
管きよの維持管理(老朽化対策・有収率の向上)。経費回収率の向上。	有収率向上のため管更生工事及び取り付け管部の継続実施。経費回収率向上に向けての経営努力の継続。

令和7年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書(P)	部局名	都市整備部
下水道事業会計	-	課 名	下水道課

I：事業概要

施策事業名	下水道事業 収益的収支事業（汚水・雨水・農集）
事業目的	生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道事業、農業集落排水事業の運営及び施設の適切な維持管理を行う。
事業内容	●全体計画 ・使用者から適切な使用料徴収と、下水道管きょ、マンホールポンプ場、入鹿神尾地区浄化センター等の適切な維持管理を行う。 ●主な事業内容 ○汚水管きょ費、雨水管きょ費 104,905,921円 ・管きょ、マンホールポンプ場等の維持管理費 ○処理場費 15,123,021円 ・入鹿神尾地区浄化センターの維持管理費 ○普及指導費、業務費 54,760,500円 ・下水道事務委託費、下水道使用料徴収事務委託等 ○総係費 78,818,677円 ・一般事務に係る職員人件費等 ○流域下水道維持管理負担金 452,612,516円 ・流域下水道処理場の運転に係る負担金 ○減価償却費、資産減耗費 939,364,094円 ・固定資産減価償却費、固定資産除却費 ○営業外費用等 96,645,623円 ・企業債利息、消費税等
事業の成果・効果	・生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道事業、農業集落排水事業を適切に運営した。

II：個別事業内訳 (単位：千円) (見直し・点検進捗評価は4段階)

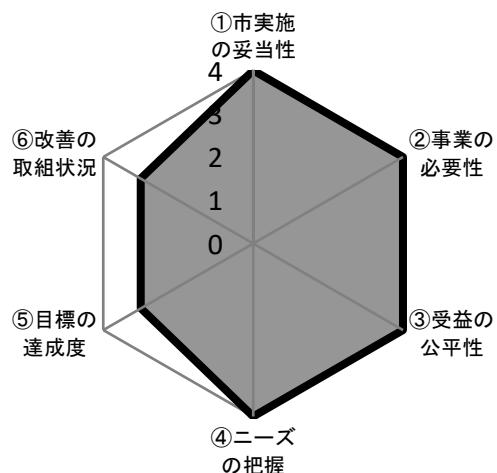
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
汚水管渠費、雨水管渠費	104,906	104,906	0	0%	4	4	4
処理場費	15,123	15,123	0	0%	4	4	4
普及指導費、業務費、総係費	133,579	133,579	0	0%	3	3	3
流域下水道維持管理負担金	452,613	452,613	0	0%	4	4	4
減価償却費、資産減耗費	939,364	939,364	0	0%	4	4	4
その他営業費用、営業外費用	96,646	96,646	0	0%	4	4	4
特別損失、予備費	9,156	9,156	0	0%	4	4	4
合計	1,751,387	1,751,387	0	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R6決算	R7決算	R8予算
		1,695,518	1,751,387	1,898,971
財源内訳	国県支出金	10,000	9,000	14,000
	地方債	0	0	0
	その他	1,685,518	1,742,387	1,884,971
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	公共下水道事業は下水道法により市が行う事業である。 農業集落排水事業は農業集落排水事業により設置された施設であり、市にて実施する必要がある。
②事業の必要性	4	公共下水道事業及び農業集落排水事業区域の市民共有の財産として、維持・管理の継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	4	公共下水道及び農業集落排水施設を利用できる市民すべてが対象となる事業である。
④ニーズの把握	4	公共下水道及び農業集落排水施設を利用できる市民すべてが対象となり、公衆衛生の向上、環境美化のために必要不可欠な事業であり、ニーズもある。
⑤目標の達成度	3	公共下水道事業及び農業集落排水施設の運営及び施設の適切な維持管理を行った。 さらに、有収率の向上に向けて改善していく必要がある。
⑥改善の取組状況	3	一宮建設事務所管内5市2町で下水道管の共同調査を継続実施した。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和7年度に見直しを実施した事項	・改定した犬山市下水道事業経営戦略に基づき、使用料改定を行うため、下水道条例の改正を実施した。 ・犬山市下水道事業経営戦略に基づく事業実施。 ・一宮建設事務所管内5市2町による共同管路調査の継続実施。
令和8年度に見直しを実施している事項	・農業集落排水区域を公共下水道区域に編入するための検討を行う。 ・官民連携(WPPP等)についての方向性を決定に向けた検討を行う。
今後見直しを検討する事項	・官民連携(WPPP等)についての方向性を決める。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和7年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課 題	対応策・今後の方向性
管きよの維持管理(老朽化対策・有収率の向上)。 経費回収率の向上。	管更生工事の継続実施等。 経営戦略に記載された経費回収率の目標値達成に向けて事業に取り組む。

令和7年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書(P)	部局名	都市整備部
下水道事業会計	-	課 名	下水道課

I：事業概要

施策事業名	下水道事業 資本的収支事業（公共・農集）
事業目的	生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道事業、農業集落排水事業の施設整備を行う。
事業内容	●全体計画 ・五条川右岸処理区及び左岸処理区の下水道整備を行う。 ・老朽化した管きよの更生工事を行う。 ・入鹿神尾地区浄化センター及び管きよの計画的な更新・改良工事を行う。 ●主な事業内容 ○公共下水道整備 892,283,479円 ・五条川右岸処理区の整備 ・五条川左岸処理区（前原台団地）の整備 ・管きよ更生工事等 ○農業集落排水事業 26,748,700円 ・入鹿神尾地区浄化センターの機械設備等更新等 ・管きよ更生工事等 ○流域下水道建設負担金 34,791,607円 ・五条川左岸・右岸流域下水道に係る建設負担金 ○企業債償還金 646,269,855円
事業の成果・効果	・五条川右岸処理区の犬山西古券地区(15.45ha)の整備を実施した。 ・五条川右岸処理区の犬山西古券地区(9.95ha)の供用開始をした。 ・五条川左岸処理区の前原台団地地区の整備を実施した。 ・老朽化した管きよの更生工事を1.68km実施した。

II：個別事業内訳 (単位：千円) (見直し・点検進捗評価は4段階)

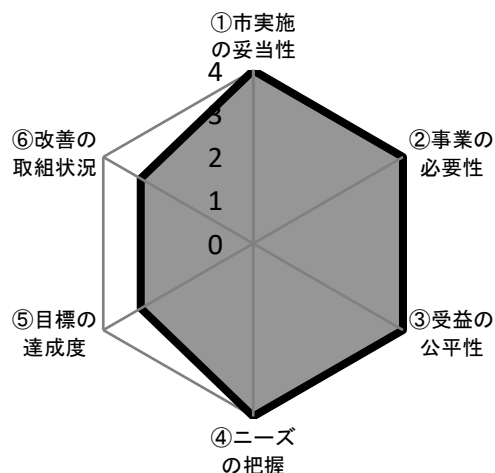
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
汚水管路建設費	749,262	749,262	0	0%	3	3	3
汚水管路改良費	194,668	194,668	0	0%	4	3	3
処理場建設改良費	1,379	1,379	0	0%	4	3	3
流域下水道建設負担金	34,792	34,792	0	0%	4	4	4
企業債償還金	646,270	646,270	0	0%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,626,371	1,626,371	0	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R6決算	R7決算	R8予算
		1,751,194	1,626,371	1,882,435
財源内訳	国県支出金	181,006	106,246	159,100
	地方債	759,800	735,500	1,002,400
	その他	810,388	784,625	720,935
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	公共下水道事業は下水道法により市が行う事業である。 農業集落排水事業は農業集落排水事業により設置された施設であり、市にて実施する必要がある。
②事業の必要性	4	公共下水道及び農業集落排水事業区域の市民に直結している事業であり、市民共有の財産として維持・管理の継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	4	公共下水道及び農業集落排水施設を利用できる市民すべてが対象となる事業である。
④ニーズの把握	4	公共下水道及び農業集落排水施設を利用できる市民すべてが対象となり、公衆衛生の向上、環境美化のために必要不可欠な事業であり、ニーズはある。
⑤目標の達成度	3	公共下水道及び農業集落排水施設の管更生工事を継続して実施したが、有収率向上に向けてさらに改善していく必要がある。 坂下・上坂地区の管きよ整備工事の一部に遅れが生じ年度内の供用開始ができなかった。
⑥改善の取組状況	3	今後の安定した事業運営を図るため、老朽化した管きよの管更生工事を継続実施した。 取付管部の改良工事も、管更生工事に併せて継続して実施した。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和7年度に見直しを実施した事項	・改定した犬山市下水道事業経営戦略に基づく計画的な事業を実施した。 ・不明水対策を行うため、管更生工事及び取付管部の改良工事を継続して実施した。
令和8年度に見直しを実施している事項	・令和9年度末に前原台団地を供用開始するため、前倒しして整備を行う。 ・建設年度が市内で最も古い尾張富士グリーンハイツの布設替工事に向けた測量・実施設計の実施する。
今後見直しを検討する事項	・建設年度が古く、法定耐用年数を経過する長者町団地及び緑ヶ丘団地の布設替工事に向けた測量・実施設計の実施を検討する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和7年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課 題	対応策・今後の方向性
有収率の向上。	有収率向上のため、管更生工事及び取付管部の改良工事を継続して実施していく。